



## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に復唱している 理念の共有と実践を心がけている 業務の中で行うことが出来るように心掛けている 常に悪れることなく実践につなげていけるよう心がけている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	管理者に任せている 外出行事等で地域の店舗を利用する際は挨拶やちょっとした会話をすることで、顔なじみになっている 地域の方が気軽に出入りできるような環境にしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者に任せている 機会がなく、できていないように感じる 地域の方がどれだけ理解しているかわからない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様とご家族が楽しんでくださるよう取り組む 管理者に任せている 定期的に関き、意見交換を行っている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者に任せている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠開放の実施 判断が難しい時は管理者に指示を仰いでいる 離設の可能性のある利用者s間には、見守りを行い、付き添うようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	情報を申し送りや日誌に手共有を図っている 入浴時の身体のチェック 内出血等があれば、管理者に報告している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者に任せている 研修等で学ぶ機会があった		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者に任せている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者に任せている 管理者から意見・要望を聞いた場合には改善したり、取り入れたり他のスタッフと相談して運営力向上に努めている 利用者様やご家族にしっかりご要望をお聞きし、ニーズに組みとるようにしている ご家族からの意見や要望はすぐに管理者に報告している		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	改善案などがあった場合には、管理者に相談している 月に一度のミーティングで全体共有している ミーティングはあるが、職員の意見を聞く場にはなっていないと思う ミーティングの議事録を作成している		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境については、管理者に任せてある一職員として自分もよい環境になるよう心がけている 勤務希望は柔軟に聞いていただけるのでありがたい ケアに関する提案や相談に職員と一緒にあって真剣に考えてくれる 管理者は常に職員の事を考えてくれている 体調不良や急な用事で休む場合などは、全職員で協力カバーできるような環境にしたい 時々個人面談がある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員教育については管理者に任せてある研修に参加した方に話を聞いたりしている研修を受ける機会が多くある研修はあるが、勤務などで参加できなため、参加できる環境を作してほしい		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と交流する機会はない法人内の研修があるため、同業者との交流を図ることが出来る資格取得に向けて勉強会を開いてほしい		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者に任せてある利用者様のこれまでの人生のお話を伺いその方の性格や生き方に合ったケアが出来るようお話を聞くようにしている不安を取り除けるよう、常に目を配り困っている事や不安がないようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者に任せてある来所されたご家族にケアについての要望をお聞きするようになっている安心していただけるように努めている来所時には声掛けさせていただくように心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者に任せてある管理者とご家族の間で話された内容を全員で共有し、ケアに反映できるようにしている自分なりに対応していくようにしている自分ではまだ判断が出来ないので、自分なりに考えて対応していけるようにしたいお話ししていく中で必要としていることを知るようになっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることはしていただいている 時間に追われ、自立支援に手が回らない時がある 余裕がある時は、昔のお話などゆっくりお聞きする 洗濯物たたみなど、共に暮らす仲間としてお手伝いを依頼する 利用者様のペースで一日を過ごしていただけるよう心がけたい		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様にあった支援をする 楽しく過ごせる場所を作るように心掛けている もう少しご家族と関わりを持てる機会があればと思う 来所された際には、最近のご様子をできるだけ詳しくお話できるようにしている 面会に来られるご家族との会話の中で、ご家族のおみやご家族を通してのご本人様の思いを読み取るように心掛けている 利用者様と楽しくゆっくり話をするようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人が来所されやすいように雰囲気作りをする 近所の方が顔を見せて下さる もう少し外出が出来るような機会を作りたい		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションへの取り組み テーブルの位置の配慮 楽しく過ごせるようなレクリエーション等を取り組んでいる		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	管理者が行っている グリーフケアが出来るとういと思う		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーション作りを大切に思いを汲み取るように心がけている 利用者様との会話にて聞き取り取り組んでいる 少しでも一人ひとりの思いにこたえていただけるように心掛けている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報の把握 ご家族、知人より教えて頂く 管理者が行っている 時間がある時に記録に目を通しコミュニケーションが取れるようにしている 管理者がご家族から聞き取ったサマリーやADL表を基に基本情報を把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態変化を見逃さないよう務める ラジオ体操をしたり、洗濯物を畳んだりして体を少し動かしていただく 状態の変化があれば、管理者に報告し申し送りをしている 常に利用者様の状況に目を配り変化がないか気にしている 本人が出来ることはできる限り行ってもらえるようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	報連相の充実 きちんとした記録を取るよう心掛ける 管理者に任せている 日比のケアから得られた情報はま位置に管理者と共有し、ご家族に伝わるようにしている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人カルテにも詳細に記入する		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調に合わせた対応 出張理美容を取り入れている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	管理者に任せている 把握が難しい		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2度訪問診療をしている 病院受診されることもある 隣の病院と連携している 急な体調の変化などの時、すぐに対応できるような体制を作っていきたい		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が行っている 常に連絡が取れるようにしている 身体の変化などをカルテに記入し、その状況を見て頂いている 日誌や介護記録を通じ管理者から看護職へ伝わるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者が行っている 退院後も安心して過ごせるように注意点を聞く		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者が行っている ご家族からの移行も伺っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の連絡はマニュアルに沿って行う訓練をしたい 不安がある		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等も定期的に行っている		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コミュニケーションを取り、その会話の中からご本人様の心地よい話題に心がける 言葉遣いに気を付けている 利用者様というより「人生の先輩」として関係を築き、穏やかに安心ねきような対応を務めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の動作は声かけへの返答など理解できるように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日をどのように過ごしたいかはなかなか聞くことができない 時折こちらの都合でお待たせしてしまうことがあるため、なるべく効率よく仕事し利用者様の要望に合わせたい 利用者様一人ひとりのペースを大切にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で衣類を選べる方は選んでいただき、スタッフが選んだ場合も気温や状況、組み合わせなどに配慮して選んでいる ひげそり、起床後の髪の手入れを毎日している パジャマと普段着で一日のメリハリを忘れない世にし、体温調節にも気を付けている 毎月美容師が来所される		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けを一緒にしていない 利用者と一緒に会話をしながら、食べている声掛けしながら食事を少しでも楽しんでいただけようように心掛けている 食事が低下した方には好物や形態を変えた食べられるものを提供している 暖かいものを提供できるよう心がけている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	他のスタッフと情報の共有・相談をして利用者様になるべく自分で食事をされるように工夫している チェック表で食事・水分量をチェックしている 栄養あるゼリーや好みの水分をお出しすることで水分量の増加に心がけている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛け、誘導にて利用者様に自身でできる事はしていただいている 自身で洗面台に行かれる方にも尊厳を損なわないようにチェックさせていただき、口腔内の異常、義歯の不具合等をチェックしている 義歯の方は毎食後外し口腔ケアをしている 夜はケースに入れ洗浄している		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を確認したり、利用者様の様子を伺ったりして声掛け誘導をさせて頂いている 動作に関しても自身でできる事はしていただくよう声掛けしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動をしていただき、なるべく内服に頼らない排便に努めている レクリエーションなどでもう少し身体を使ったことが出来るようなレクをしたいがなかなかできていない 薬で調節している方もいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望はなかなか聞けていない 入浴拒否が強い利用者様の誘導をどこまでしていくかがまだわからない ご本人の要望をお聞きし、時間帯や日にちを調整させて頂いている できる限り2日に1度は入浴していただいている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状況、体調などの情報に注意している 床にマットレスを引かせていただいたり、ご本人の体調や気分に応じて寝室の環境を整わせていただいている 日中の活動量を確保するようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	チェック表にてミスが内容に心がけている 飲み終わるまで見届けるようにしている 飲み終わるまで見届けている リーダーまたは夜勤者が責任を持って行っている カルテ内に薬剤情報があり、いつ確認できるようになっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケや季節行事を取り組んでいる できる限り利用者様にはお手伝いをしてもらっている もう少し買い物に出かけられるようにしたい		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	暖かい日には散歩などで外出できるようにしたい 近くの喫茶店へ行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理者が行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自己にて携帯電話を使用されている方もいる 自己にて手紙を書かれている方も見える		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天気の良い日には照明を調節している テレビやソファを置いてゆっくり過ごせるスペースがある 誕生会や餅つき等季節に応じたイベントを行っている 季節の花等が飾ってあるが、あまり利用者様の目に留まっていない もう少し話題にできるとよい 壁の掲示物やレクの話題などで季節感が味わえるような工夫をしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士座っていただいている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用されていたものを持ち込んで心地よい空間を作られている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒の内容に気を配っている 居室には名前入りの写真が飾ってある 車椅子の方でも自走が安心してできる トイレの標識を工夫したり、手すりの設置を行うことで利用者様が不安なく移動できるように工夫されている		